

認知症初期集中支援チームの活動状況について

1 事業概要

(1) 目的

認知症初期集中支援チーム（以下「支援チーム」という。）は、介護保険法に基づく地域支援事業として、認知症の人や認知症が疑われる人及びその家族に早期に関わり、必要な医療サービスや介護サービスにつなげることを目的に配置している。

(2) 支援チームの配置場所

- ア 東部地域：東部高齢者はつらつセンター
- イ 中部地域：中部高齢者はつらつセンター
- ウ 五日市地域：五日市はつらつセンター

(3) チーム員の構成

- ア 東部地域：専門医、保健師及び主任介護支援専門員 各1人
- イ 中部地域：専門医、看護師及び主任介護支援専門員 各1人
- ウ 五日市地域：専門医、看護師及び社会福祉士 各1人
- ※ 専門医（1人）については、各地域を兼務する。
- ※ 地域連携型認知症疾患医療センター（あきる台病院）と連携するため、チーム員会議に相談員1人、派遣を依頼している。

(4) 活動状況

- ア 相談受付後、医療職と福祉職・介護職がペアで初回訪問を実施し、利用者基本情報シート・アセスメントシートを作成し、課題等の整理を行う。
 - イ 課題等を整理し、支援チームの対象者と判断した場合は、認知症初期集中支援チーム連絡票により高齢者支援課に報告を行う。
 - ウ その後、必要に応じて支援・訪問を行うとともに、毎月1回開催している、チーム員会議において、収集した情報とアセスメント内容により、支援方針、支援内容、支援頻度等を決定する。
- なお、チーム員会議は、3チーム合同で行い、新規事例以外の事例も経過報告し、今後の支援方針を検討するとともに、支援の終了についても判断している。

2 活動実績（令和5年4月1日から令和5年12月31日まで）

担当地域		東部	中部	五日市	
チーム員会議数		6回（定期チーム員会議）※年度末には実施8回となる予定			
対象者実人数		1人	5人	6人	
対象者分類	① 認知症診断なし	0人	2人	4人	
	② 医療サービスを利用していない	0人	0人	4人	
	③ 介護保険サービスを利用していない	1人	5人	6人	
	④ 認知症診断有るが介護サービス中断中	—	—	—	
	⑤ 認知症症状顕著で対応苦慮	—	0人	—	
支援・相談回数	① 訪問	11回	22回	6回	
	② 電話	22回	177回	35回	
	③ その他	1回	0回	6回	
終了件数		1件	5件	1件	
終了後の対応		CMへ引継	0件	CMへ引継	4件
		医療機関	1件	医療機関	1件
		包括へ引継	0件	包括へ引継	0件
		その他	0件	その他	0件

※対象者分類及び終了後の対応は、複数に該当する事例有り。